

落語も聖書も 人生そのもの

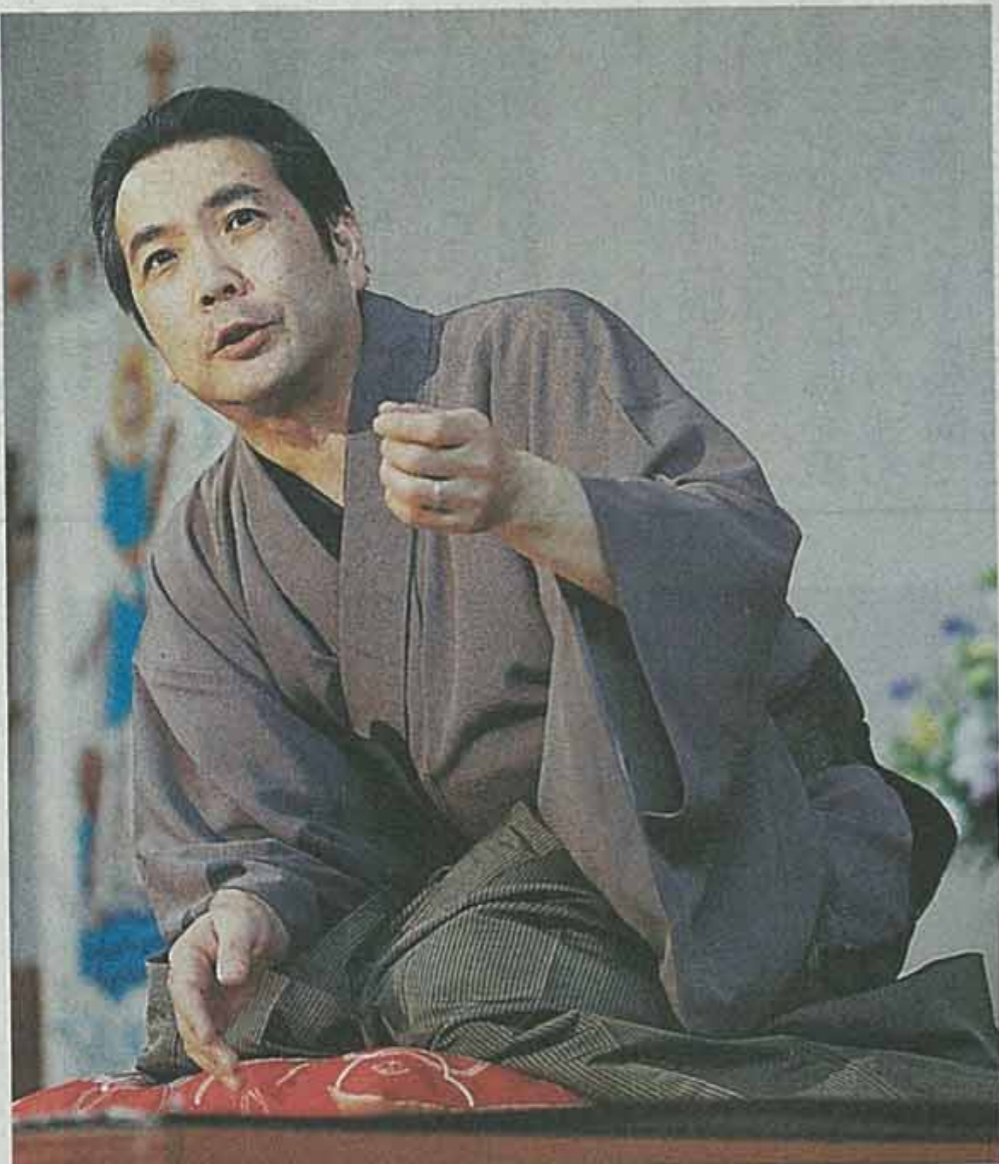
落語を演じるキリスト教の司祭がおいでになります。晴留家志んぶ。本名は大畑喜道さん(54)。一度は本気でプロを目指したこともあるそう。今は教会でチャリティー公演を開いておられます。なんでも、聖書の世界と落語には通じるところがあるとか……。おや、にぎやかな出囃子が聞こえてきましたよ。

(磯村健太郎)

大きな拍手を受けて、赤い座布団に座る。「いっぱいのお運び、ありがとうございます」。ここは東京タワーのすぐ近く、英国国教会系の日本聖公会の教会だ。約170人の聞き手をぐるりと見渡す。頭上には、天井からつるされた約1斤の十字架がある。

演目は「商社殺油地獄」。産油国の駐在員たちがドタバタする新作落語だ。「日本の伝統芸能が見たい」という王様に取り入ろうと、何を呼ぼうかと話し合う。歌舞伎か義太夫か。それとも落語はどうだろう。

「志んぶさんてのは、安くていいらしいですよ」「志んぶさんなあ、あいつは素人だしなあ。けっこうドジったりなんかして……」



落語を演じる大畑喜道さん＝東京都港区・聖アンデレ教会、郭允撮影

故・古今亭志ん生が大好きで、恐れ多くも勝手に「志ん」の2文字をいただいた。この日の公演は、火事に遭った福祉作業所の支援のためで、パントマイムの演者らも駆けつけた。毎年春には、難病の子の入院時に家族が利用できる滞在施設「ぶどうのいえ」のために寄席を開く。大畑さんが設立にかかわった施設だ。

埼玉県で質店を営む両親のもとに生まれた。当時は近くに米軍基地があり、兵士の相手をする女性が肩を組んで店にやってきた。

「みんな一生懸命生きているんだよ、と父は小学生の私に話していました。ただ、あまり仕事を

弱さも罪深さも認めてくれる

見せなくなかったようで、日曜になると教会に連れていくんです。友だちもでき、教会が好きになっていった。中学1年で自ら洗礼を受ける。クリスマスチャンでない両親は「おまえの人生だから」とだけ言った。

一方で、古典落語の本を読むのが好きだった。「中学2年のとき、老人ホームの慰問で小話をしたら受けたんですよ。それから、舞台上上がるよときの緊張感や拍手が忘れられなくて」。高校になると、土曜日は演芸場に通った。やがて、プロになりたいという気持ちがあわさる。

大学1年のとき、志ん生の弟子である古今亭圓菊の門をたいた。しかし「親が許可しないとあ」。父親は「おまえがやるのに、なんで親が頼まなきゃいけないんだ」。家を飛び出すほどの覚悟はない。中ぶらりんとなった。

元氣じゃないと、つらいんだ。あなたが笑顔でいてくれればいい、と語ってくれているようだった。その優しさに触れたとき、自分の「大きな間違い」に気づいた。「イエスの教えた愛は、上から下へあわれみかけることじゃない。ともに生きていくってことなんだ」。一人ひとりが持つものが光り輝くような社会に少しでも近づきたい、それを教会を通してやってみよう。聖職者の道へ進む転機となった。

ところが神学院1年のときに事件が起きる。知的ハンディを持つ人たちの授産施設での実習中、飼われていた犬にかまれてしまったのだ。両手や首は包帯だらけ。いいことをしてあげるぞ、と張り切っていたのに、なにもできない。

今も、車の運転中などに落語のけいこは続けている。オフィスの本棚には、キリスト教に関する書籍と落語のCDが並んでいる。「落語って、人生そのものだと思うんです。だまし、だまされ、弱さも罪深さもある世界。だけど八つあいや熊さんが『ばっかだなあ』と言うときも『おまえがいるから楽しいんだよ』と相手を大事に思っている。痛めつけられ、つらい思いをした人たちも、みんなそこにいていいよ、って肯定してくれる。すごく聖書の世界と似ています。そこが好きなんです」

1人の園生が「元氣がないね」と声をかけてきた。「何かやりたいことある?」。頭を洗いたいけどできないんだよ、と答えた。すると夕方、5人ほどの男性にシャワー室へ連れていかれた。裸にされ、シャンプーで頭を洗い流す。園生たちはこう言った。「仲間が

教会では「先生」とも呼ばれる。「でもね、人間なんて五十歩百歩。私だって、たかが知れている。悩んだり、泣いたり、わめいたりしながら『一緒に歩こうよ』と語っていきたくんです」

「そんな言い方しちゃうと深そうだけど、落語家さんに『そんなもんじゃありませんよ』って言われそうですね」

そうやって、もがく姿をどっかで笑い飛ばしているのが落語なのかな……。そう話して、すぐに付け加えた。

「そんな言い方しちゃうと深そうだけど、落語家さんに『そんなもんじゃありませんよ』って言われそうですね」

「そんな言い方しちゃうと深そうだけど、落語家さんに『そんなもんじゃありませんよ』って言われそうですね」

11/28 (E) 朝日新聞 一部地域 29(M)